

平成24年2月13日

伊東市長 佃 弘巳 殿

株式会社 東洋検査センター
代表取締役 畑中 富男



放射性セシウム測定結果の訂正について

拝啓 平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

この度、既にご報告しております「放射性ヨウ素 (I-131) と放射性セシウム (Cs-134 と Cs-137)」の測定結果につきまして、測定機関(九州環境管理協会)にて再点検を実施したところ、一部の試料において Cs-134 の測定の際にサム効果補正(※)を行っていないことが判明しました。

解析ソフト上の問題によるもので、測定結果に補正を行なうと、別紙に示すように Cs-134 濃度は10%前後、また、放射性セシウム濃度(Cs-134 濃度と Cs-137 濃度が合算された濃度)は3~5%程度高くなります。

つきましては、誠に恐縮でございますが、別紙に示す測定結果について、放射性セシウム濃度の訂正をお願いいたします。

なお、今回の件で、関係各位に多大なご迷惑をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。

敬具

(※) サム効果補正

Cs-134 (半減期: 2.06年) のように壊変に際して複数のガンマ線を段階的に放出する核種においては、測定時に複数のガンマ線が重なって検出されることがあり、試料の形状によってはサム効果が生じることで、測定結果がいくぶん過小に評価される場合があります。Cs-134 の放射能濃度を計算する際に、その効果を補正することをサム効果補正と呼びます。

[別紙]

受付日	施設名	試料名	放射性セシウム測定結果 [Bq/kg]					
			既報告値			訂正值		
			セシウム134	セシウム137	合計	セシウム134	セシウム137	合計
平成23年5月20日	伊東市湯川終末処理場	焼却灰	10	12	22	11	12	23
平成23年7月1日	伊東市立宇佐美小学校	グラウンド土壌	261	318	579	283	318	601
平成23年7月1日	伊東市立西小学校	グラウンド土壌	308	354	662	337	354	691
平成23年7月1日	伊東市立対島中学校	グラウンド土壌	355	412	767	384	412	796
平成23年7月19日	伊東市美化センター	集じん灰	1,050	1,180	2,230	1,150	1,180	2,330
平成23年7月19日	伊東市美化センター	焼却灰	119	142	261	131	142	273

株式会社 東洋検査センター

